



ミライのフターをつくろう



未来都市とよた

とよたSDGs グッドプラクティス

vol.2



ミライのフターをつくろう



未来都市とよた

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

発行  豊田市企画政策部 未来都市推進課

2023年3月

SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」のことで、貧困の撲滅や気候変動対応など、世界が解決すべき課題に関する17の目標と169のターゲットを定めています。SDGsの達成には、一人ひとりが「今、できること」を始めることが大切です。本誌は、SDGs未来都市である豊田市が「今、できること」を実践している企業・学校・団体等の取組を紹介する冊子です。

目次

SDGs未来都市とよた	2
3つの重点分野を通じてSDGs達成を目指す	3
とよたSDGsパートナー/豊田市つながる社会実証推進協議会/おいでん・さんそんセンター	4
① 子ども未来応援プロジェクト「子ども食堂」への持続的な支援 【第一生命保険(株)豊田支社】	5
② ごみ拾いはスポーツだ! スポGOMI大会 in とよた 【スポーツボランティアとよた】	7
③ 環境講座開講「プラスチックゴミについて考える」 【花王グループカスタマーマーケティング(株)、豊田市立朝日丘中学校】	9
④ ストロベリーパークみふね観光農園事業によるSDGs活動 【TAIKEIファーム(株)ストロベリーパークみふね】	11
⑤ とよた食品ロス妖怪クイズラリー 【とよたSDGsパートナー8者】	13
⑥ 朝中リサイクル活動 【豊田市立朝日丘中学校 生徒会・環境美化委員】	15
⑦ 豊田市民間伐材を活用した木材トレイ 【アイシン高丘(株)】	17
⑧ 豊田市学校の働き方改革サポート事業 【豊田市教育委員会、NPO法人ブルーバード】	19
⑨ 認知症疾患啓発 受診勧奨活動 【アルフレッサ(株)】	21
⑩ ICT 技術を活用した見えるコミュニケーション 【西三河音声認識文字研究会「こえもじ」】	23
あとがき/その他の提供事例	25

SDGs未来都市とよた

とよたの目指す将来都市像

～ つながる つくる 暮らし楽しむまち・とよた ～

人と人、人と地域、自然とのつながりを深め、認め合い、生かし合う中で、多様な価値や可能性をつくりだし、暮らしを楽しむことができるまちをめざします。

SDGs 未来都市とよた として

「つながる つくる 暮らし楽しむまち・とよた」の実現に向け、かけがえのない自然環境を守り、無理なく無駄なく快適に暮らす「ミライのフツー」を目指してきた豊田市では、さまざまな先進技術や新たな社会システムをかたちにしてきました。そして2018年には、内閣府からSDGs達成に向けた取組をリードしていく自治体「SDGs未来都市」に選定されました。

これまでとこれから



3つの重点分野を通じて SDGs達成を目指す

豊田市におけるSDGs未来都市の活動は、

「エネルギー」「モビリティ」「ウェルネス」の3つを重点分野に掲げています。

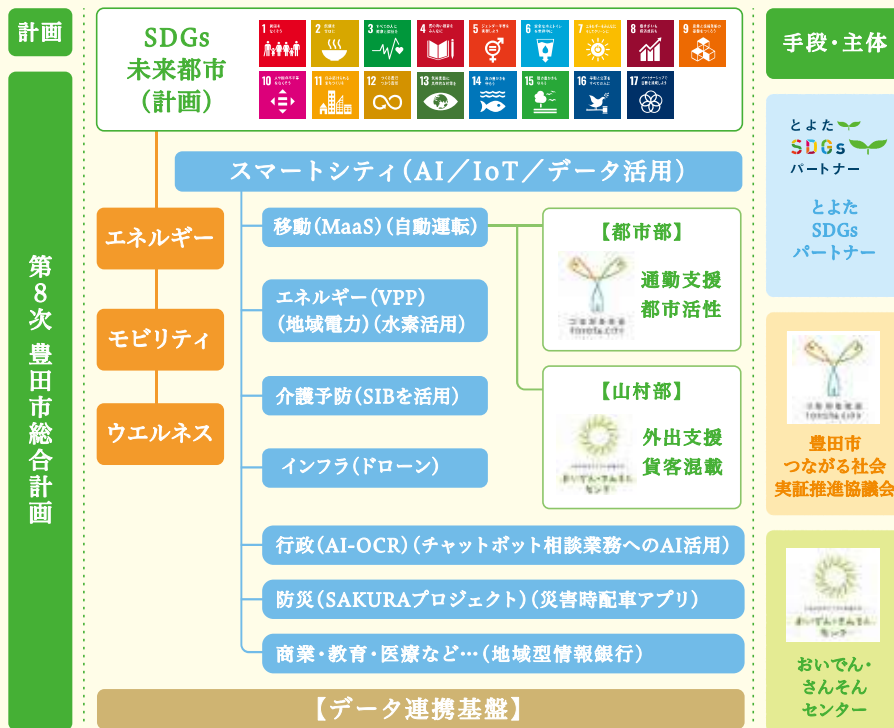
AI、IoT、ビッグデータなどを活用したスマートシティの実現に向けた取組では、移動やエネルギー、介護予防などの分野にも積極的に取り組んでいます。

「とよたSDGsパートナー」「豊田市つながる社会実証推進協議会」

「おいでん・さんそんセンター」を中心に連携しながら、

SDGs達成に向けてさまざまな活動を展開しています。

豊田市におけるスマートシティの構想イメージ



とよたSDGsパートナー

豊田市は、SDGs (持続可能な開発目標) の達成、持続可能なまちの実現に向けて、豊田市と共に取組等を実施、協力いただける企業・団体等を「とよたSDGsパートナー」として登録しています。豊田市とパートナーが、それぞれの有する資源や知見等を生かし、共に目指すSDGsゴールや豊田市の地域課題の解決に向け、連携し、持続可能な取組や活動を推進するとともに、SDGsの普及啓発を図ることを目的としています。



豊田市つながる社会実証推進協議会

市民、企業、金融機関、教育・研究機関、官公庁をつなぎ、新たな技術や社会システムの実証・実装を通じ地域課題解決を推進する協議会です。資源・エネルギーの地産地消、高齢化社会への対応、交通安全の推進などに取り組んでいます。



おいでん・さんそんセンター

都市と山村の交流をコーディネートし、人と人、地域と企業・団体をつなぐために設立された機関です。都市と山村それぞれの課題解決、多彩なライフスタイルの実現のサポート、地域の新たな魅力創出の支援などを行っています。



子ども未来応援プロジェクト 「子ども食堂」への持続的な支援



実施主体：第一生命保険(株)豊田支社

連携主体：豊田市役所(福祉総合相談課)、豊田市社会福祉協議会(共生推進課)
とよたこども食堂ネットワーク

〔主目標〕



〔関連目標〕



子どもたちと積極的に触れ合い 「大切な居場所」を守る

第一生命保険(株)豊田支社では、新型コロナウイルスの感染拡大によりひとり親世帯などの収入減少による生活苦が子どもたちに大きな影響を与える中、豊田市とも連携しながら、豊田市内にある6つの営業オフィスがそれぞれ1~2ヶ所の「子ども食堂」を毎月1回訪問しています。訪問では、第一生命のオリジナルグッズを活用したイベントを実施するほか、スタッフが自ら考えた手作りイベントやワークショップを開催したり、子どもたちの調理実習にスタッフとして参加して交流を図ったりしています。このように子どもたちと触れ合う時間を作ることで、大切な居場所を作るという「子ども食堂」の役割に積極的に関わり、地域課題の解決に向けた持続的な支援を展開しています。

特に 注力した点

「子ども食堂」の支援活動に取り組むうえで、第一生命のスタッフができること、「子ども食堂」の運営代表者の方の要望を十分にすり合わせたいうで、支援内容を決定するようにしています。また、できるだけ多くの社員が交代で参加し、イベント開催時には子どもたちが喜んでくれる企画をスタッフたちが創意工夫して行っています。

担当者の想い

2020年から開始した「子ども食堂」の支援では、子どもとの触れ合いを大切にしています。子どものための活動ではありますが、「子どもの笑顔に元気もらえる」と参加する社員のモチベーションにもなっており、今後も支援を継続したいと思います。



ごみ拾いはスポーツだ！ スポGOMI大会 in とよた



実施主体：スポーツボランティアとよた

連携主体：とよたSDGsパートナーはじめ参加者・協賛者

〔主目標〕



〔関連目標〕



ごみを拾う新感覚のスポーツを通じて 「まち」と「ごみ」について考える

2019年に開催されたラグビーワールドカップのレガシーを継承する団体として設立させた「スポーツボランティアとよた」では、「ごみ拾いはスポーツだ！スポGOMI大会inとよた」というイベントを開催しました。「スポGOMI」とは、企業や団体が取り組む従来型のごみ拾いにスポーツのエッセンスを取り入れた、日本発祥の全く新しい競技です。4～5名のチームに分かれ、拾ったごみの質と量を競います。プレイ中に感じる「ごみが多い＝楽しい」という違和感を通じて、多くの方に「まち」と「ごみ」について考える機会を提供するのが目的です。2021年10月30日に実施された豊田市の第1回大会では、食品ロス削減全国大会のおもてなし企画として、立案から当日運営に至るまで多くのとよたSDGsパートナーが参加・協力しました。

特に注力した点

スポGOMIは、ごみ拾いに「楽しさ」という要素を掛け合わせることで、より多くの方に参加してもらい、気づきを得てもらうための取組です。今後もより多くの企業・団体から開催を支援していただくことで、活動を継続させることを目指しています。

担当者の想い

2019年設立のスポボラとよたですが、コロナ禍で思うように活動ができない中『スポGOMI』に出会いました。仲間と絆を深めながら楽しく街をキレイにする活動を今後も続け、豊田市を訪れる方々へのおもてなしをしていきたいです。



環境講座開講

「プラスチックゴミについて考える」



実施主体：花王グループカスタマーマーケティング(株)、豊田市立朝日丘中学校

〔主目標〕



〔関連目標〕



一人ひとりに何ができるのかを考え 身近なところから環境保護に貢献

朝日丘中学校では、環境美化委員の生徒たちが花王グループカスタマーマーケティング(株)が主催する「よりすこやかな地球のために一人一人がいま何が出来るか」をテーマにした環境講座「プラスチックゴミについて考える」を受け、地域の環境を守るための活動に熱心に取り組んでいます。全校生徒831名から使わなくなった歯ブラシやペットボトルキャップなどのプラスチック製品を回収してリサイクルを行ったり、環境美化委員の生徒たちが中心となってサクラソウを育て、朝日丘交流館に寄贈したりしています。

特に注力した点

花王グループカスタマーマーケティング(株)では、長年にわたって「衛生・環境・美・健康」などのさまざまな分野で培ってきた知見を広く伝えることで、多くの生活者の皆様に「キレイ」をお届けしていきたいと考えています。そこで、教育機関、企業、多様なコミュニティを通じた講座・イベントなどの啓発活動に力を入れています。地域のステークホルダーの皆様と一緒に、「循環型社会」「地域の衛生」「子育て」「高齢化」など、地域が抱えるさまざまな課題の解決を目指した取組に積極的に参加しています。

担当者の想い

花王は生活者の持続可能なライフスタイルを送りたいという想いや行動に伝えることを目指しています。SDGs達成に貢献すべく、さまざまな啓発活動や取組を行っていますので豊田市を通じてご相談いただけますと幸いです。



ストロベリーパークみふね観光農園事業 によるSDGs活動

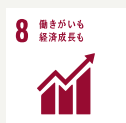


実施主体：TAIKEIファーム(株)ストロベリーパークみふね

〔主目標〕



〔関連目標〕



農業体験企画などを通じて 改めて食育の大切さを伝える

TAIKEIファーム(株)では、2021年1月にグランドオープンした「ストロベリーパークみふね」における観光農園事業を通じて、さまざまなSDGs活動を展開しています。食品ロスの削減と6次産業化を図ることを目的に「ジャム」や「いちご酢」などのOEM商品を開発し、農産物の価値向上に取り組んでいるほか、最新のICT・IPM技術を導入することで減農薬および省力化を図るなど、環境に配慮したより生産性の高い「スマート農業」を追求しています。また、農産物を生産・収穫する喜びを感じられる機会や、食育に対する重要性を再確認できる場を提供することを目的に、サツマイモを栽培する農業体験企画なども実施しています。

特に 注力した点

2022年11月には、国内外に多くのファンを持つスタジオジブリの世界を表現した「ジブリパーク」がオープンし、愛知県の観光がこれまで以上に盛り上がりを見せています。TAIKEIファームでもこれを好機と捉え、新しい観光拠点の1つとなるべくさまざまな取組を行うことで、観光と農業の融合を図り、地域社会から愛される企業を目指しています。

担当者の想い

JGAP認証*も取得し、農業からSDGsに取り組む当社では、余剰いちごを用いて「ジャム」や「いちご酢」を開発するなど6次産業化と食品ロス削減に力を入れています。昨年末にカフェもオープンしたため、一層食品ロス削減に注力したいと思います。

*JGAP認証：食品安全・労働安全・環境・人権など持続可能な農場経営への取組を評価するしくみ



とよた食品ロス妖怪クイズラリー



実施主体：スポーツボランティアとよた、太啓建設(株)、トヨタ衛生保繕(株)
(特非)とよたエコ人プロジェクト、トヨタ自動車(株)、名古屋菅公学生服(株)
ひまわりネットワーク(株)、フジ建設(株)

〔主目標〕



〔関連目標〕



妖怪たちのクイズに答えながら 親子で楽しく食品ロスを考える

豊田市では、市民に食品ロスの削減を呼び掛けるため、買い物たびに余計な食品を買ってしまう「買いすぎ」、飲食店で注文しすぎていつも食べ残してしまう「とくもりさま」など、食品ロスを招く全9体の“豊田市食品ロス妖怪”を作成しています。「とよた食品ロス妖怪クイズラリー」では、2021年10月30日に実施された「食品ロス削減全国大会in豊田」の開催記念イベントとして、豊田市駅前周辺に9ヶ所のクイズポイントを設けて、この“食品ロス妖怪”が出題するクイズに答えながらスタンプを集めるクイズラリーを行いました。

特に 注力した点

スタンプはQRコードを各自の携帯で読み取る仕組みで、すべてのスタンプを集めるともれなく景品をプレゼント。クイズパネルには、“食ロス妖怪”にちなんだクイズだけでなく、ヒントにもなる解説を載せることで、楽しく学べる取組になりました。親子や友達同士でクイズに答えながら「学び」、環境問題に関わる食品ロスについて「考え」、食品ロス削減へ向けて「行動する」きっかけにつなげることを目的とし、幅広い年齢層に楽しんでもらえるイベントとなりました。

担当者の想い

子どもたちが楽しく学べるイベントを企画運営しましたが、私たちが改めて食品ロスに対する課題解決について考える機会になりました。これからもさまざまな取組や活動で連携し、SDGsの普及啓発を図っていきます。



朝中リサイクル活動



実施主体：豊田市立朝日丘中学校 生徒会・環境美化委員

〔主目標〕



12 つくる責任
つかう責任

〔関連目標〕



13 気候変動に
具体的な対策を



14 海の豊かさを
守ろう

捨てるにはもったいないものを 世界の恵まれない子どもたちへ

豊田市立朝日丘中学校では、学校の特別活動の一環として、生徒会の執行部と8つの委員会を中心となり、SDGsに関するさまざまな取組を実践しています。地域と連携したボランティア活動、ペットボトルキャップによる世界の子どもたちへのワクチン支援活動などのほか、「朝中リサイクル活動」にも力を入れています。

「朝中リサイクル活動」では、生徒会が中心となって、全校生徒831名から使わなくなった子ども服や学用品、スポーツ用品などの回収を行い、これらを必要とする方々へ譲渡する活動に取り組んでいます。

特に 注力した点

日々の活動で集められた回収物は、豊田市が開催する「SDGsスポーツフェス」に提供して必要とする方々に譲渡したり、日本国内でまだ使えるのに捨てられている“余剰在庫=捨てるにはもったいないもの”を世界中の必要な場所につなぐことで削減する一般社団法人「もったいないボランティアプロジェクト」を通じて、海外の恵まれない子どもたちに寄付したりしています。

担当者の想い

朝日丘中学校では、生徒たちが、社会の問題を自分事として捉えながら、主体的に地域貢献活動に取り組めるように、生徒会活動と委員会活動、総合的な学習の時間において、SDGsに向けた活動に取り組んでいます。



豊田市間伐材を活用した木材トレー



実施主体：アイシン高丘(株)

連携主体：豊田森林組合、西垣林業(株)

〔主目標〕



〔関連目標〕



間伐材を使った食品トレーを作り 地域一体となった循環型社会を目指す

豊田市は土地面積のおよそ7割を山林が占めており、豊富な森林資源を有しています。アイシン高丘(株)は、豊田市に本社を構え、豊田市の森林資源を有効活用する取組として、山林から出る間伐材を利用した環境負荷の少ない食品トレーの製作にチャレンジしています。

食品トレーの開発にあたっては、木材を取り扱うパートナー企業様と協業し、アイシン高丘が自動車部品製造で培った技術を応用することにより、新たな価値を創造します。通常のトレーに用いられる接着剤などの化学製品は一切使わず、木材のみを材料としているのが特徴です。石油由来ではない安全・安心な木材トレーを製作することで、地域一体となった循環型社会の構築を目指しています。

特に注力した点

森を豊かにするために切り出された間伐材を活用し、脱プラに貢献するだけでなく、木材トレーを使われる方々がSDGsを実践する機会を創造します。そして、こうした活動を通じて、長く住み続けられる街づくりに貢献できるよう頑張っています。

担当者の想い

日本の自動車産業の中心でありながら、豊富な森林資源があるのが豊田市の強みです。当社が自動車部品製造で培った技術と豊田市の森林資源を融合し、地域一体となった新価値の創造に取り組みます。



豊田市学校の 働き方改革サポート事業



実施主体：豊田市教育委員会、NPO法人ブルーバード
連携主体：豊田市立堤小学校教職員、児童、PTA及び地域住民

〔主目標〕



〔関連目標〕



多忙な先生たちの働き方を見直し よりよい教育へとつなげる

豊田市教育委員会では、とよたSDGsパートナー登録団体であるNPO法人「ブルーバード」と共働し、教職員の多忙化を解消することで「より良い働き方」の実現を後押しする「学校の働き方改革サポート事業」を実施しています。

学校の働き方改革サポート事業では、モデル校2校に対し、1年間にわたってさまざまな取組を行いました。主な目的は、多忙な先生方の働き方を見直すことで、教育的意義の高い時間の使い方にシフトすること、そして、先生自身が健康的で人間らしい生活を送り、仕事以外の時間で広い視野を養うことで、子どもたちによりよい教育を提供していくことです。モデル校の1つである堤小学校では、宿題、部活動、学校行事、登下校時間などの見直しに学校全体で取り組み、時間外労働45h/月以上の教職員が7割減るなど、大きな成果を上げました。

特に 注力した点

学校の改革は、先生方だけでなく、PTAや地域の方、児童や保護者の理解と協力があってはじめてできることです。また、時間削減は1つの手段であり、本来の目的である教育の質向上に向けて、先生方が真剣に意見を交わしました。

担当者の想い

学校は、これから先の未来を育てる、とても大切な場所です。先生方がイキイキと生活し、心から情熱を注ぎたい教育そのものに使う時間が増えることは、子どもたちの笑顔と、私たちの未来につながると考えています。



認知症疾患啓発 受診勧奨活動



実施主体：アルフレッサ(株)
 連携主体：豊田加茂薬剤師会

〔主目標〕



〔関連目標〕



認知症を早期に発見することで 高齢者の交通事故を減らす

アルフレッサ(株)は、医療用医薬品メーカーとして国内屈指の規模を誇り、全国に200ヶ所以上の拠点を構えています。医薬品を通じて培ってきたこれらの流通ネットワークを地域の連携に生かし、職種間や施設間を“つなぐ活動”こそが、これからのお客様支援になると位置付けています。

この“つなぐ活動”の一環として取り組んでいるのが、「認知症疾患啓発 受診勧奨活動」です。一般社団法人「豊田加茂薬剤師会」が参加するイベントや「健康フェア」などに協賛し、認知機能を測定し、日々の記録やトレーニングなどを行える支援ツール「脳活バランサー CogEvo」を活用することで、認知症の社会啓発活動に取り組んでいます。

特に 注力した点

これからも少子高齢化が急速に進んでいく日本において、認知症はより一層大きな社会問題となっていくことが予想されています。地域のイベントを通じて認知症の早期発見、受診勧奨に力を入れることで、健康意識の向上を図り、高齢者の交通事故の減少などにつなげていけるように取り組んでいます。

担当者の想い

高齢者による交通事故は年々増加傾向にあります。
 自動車の町、豊田市で少しでも高齢者の交通事故を減らすことができればと思い地域で認知症疾患啓発、受診勧奨活動に今後も取り組んでいきます。



ICT 技術を活用した 見えるコミュニケーション



実施主体：西三河音声認識文字研究会「こえもじ」

連携主体：岡崎市難聴・中途失聴者の会、要約筆記きこえのサークル ダンポ Shamrock Records(株)、(株)アイシンほか

〔主目標〕



〔関連目標〕



最新の音声認識技術を使い 聞こえない人に情報を届ける

西三河音声認識文字研究会「こえもじ」では、日々進化するITを活用した音声認識技術の研究と普及啓発に取り組んでいます。

世の中には、「聞こえない」「聞こえにくい」「APD(聴覚情報処理障害)」など、さまざまな理由により、音の情報から取り残されている人たちがいます。音声認識アプリなどの最新技術を活用し、音を可視化することができれば、こうした音の情報から取り残されている人を減らすことができます。音声認識アプリなどの最新技術を活用すれば、その場の音声をすぐに文字化できます。自動翻訳機能があるアプリも多いことから、言語が異なる外国人とのコミュニケーションにも役立ちます。

特に 注力した点

「こえもじ」では、誰もが安心してこの街で暮らせるように、最新の音声認識技術を活用することを団体・個人などに促しています。音声認識の技術は日進月歩で進化しています。そこで、自らも最新技術を学びながら市民参加型の勉強会を実施するほか、さまざまな人が参加する場所で実際に文字表示をするなど、技術の周知、啓発活動などを展開しています。

担当者の想い

私たちは、年代や国籍、障がいを超え、誰もが社会の一員として生き生きと安心して暮らせる街、そんな社会の実現を目指して活動をしています。現在の音声認識技術の向上はめざましく、もっとたくさんの方にこの技術と、必要性を知って使っていただきたい。今後は楽しいところにごそ音を文字にする活動がしたいと考えています。楽しい活動をされている皆さん、ぜひお声がけください！



Play! SDGs

～SDGs達成への努力を身近なものに～

本冊子を手にとってくださりありがとうございます。

今回発行を迎えた「とよたSDGsグッドプラクティスvol.2」には、とよたSDGsパートナーが中心となって取り組む、10件の優良事例を掲載しています。

この10事例は、パートナーの自薦・他薦により集まった24件の候補の中から、市民による投票により選ばれています。

市民投票により事例を選定したのは、とよたSDGsパートナーの精力的な活動により豊田市内で続々と生まれる「SDGs達成に向けた努力」をより身近なものに感じてもらい、生活における実践につなげてほしいという想いからです。

2023年に入った今、2030年までの目標であるSDGsは折り返し地点を迎えています。

豊田市は2018年にSDGs未来都市に選定されて以来、SDGsを知ってもらうため、「Think SDGs」をスローガンに取組を進めてきました。

しかし現在では、SDGsの理念を広める段階は既に過ぎ、行政や企業だけでなく個人をも含んだ、地域のあらゆる主体が行動を起こすことが求められています。

豊田市の新たな合言葉は「Play! SDGs」。SDGs達成に向けた行動の呼びかけと同時に、その変化を楽しんでいただきたいという想いを込めています。

「今、できること」を考え、「まず、やってみる」。

豊田市には、世界を変えるための努力を始めた仲間たち=とよたSDGsパートナーがいます。本冊子が、世界を変えるための、皆様自身の「行動」のヒントとなれば幸いです。

SPECIAL THANKS

投票にご参加いただいた市民の皆様

SDGs達成に取り組むとよたSDGsパートナーの皆様

- あやとりい教室(交通安全教室)
【(株)ホンダカーズ三河】
- 地域交流拠点「みんなのお勝手さん」
【みんなのお勝手さん】
- 地域の安全点検と危険箇所調査
【豊田市立朝日丘中学校】
- 中学生が地域課題を考える!! ジビエを活用したハンバーガー開発
【豊田市立旭中学校】
- メンバーの得意分野を活かし、とよたのまちを災害からお守りします
【災害とよたまちのお助け隊】
- 報道番組キャッチ!「鈴木福のしあわせ羅針盤」
【中京テレビ放送(株)】
- 縁起のよいまち小原地域活性化プロジェクト
マウンテンマテリアルズ【丸普薬業原料(有)】
- 【とよたいかんぬ映画祭】×【とよたおいでん映画祭】
【NEGAPOSI FILM】
- 文字を通じて社会に貢献する
【(株)モリサワ】
- フダコマ広場オリジナル制作 協力型防災ゲーム「LIFE」
【フダコマ広場】
- 「在庫を持たない」一人一人に合わせた寝具の作成
【アトマ寝具店】

(順不同)

